

2022年度  
大学院医学系研究科博士課程

---

履 修 要 項

---

Guide to Doctoral Program, Graduate School of Medicine



国立大学法人

滋賀医科大学

SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE



---

# 目 次

---

- ・ 大学院医学系研究科博士課程学年暦
- ・ 滋賀医科大学の理念・使命
- ・ 大学院医学系研究科博士課程教育目標
- ・ 大学院医学系研究科博士課程の三つのポリシー（方針）
- ・ 大学院医学系研究科博士課程の概要
- ・ カリキュラムツリー及び授業科目ナンバリング
- ・ 履修要項
- ・ 先端医学研究者コース・高度医療人コース・学術医療人コースの授業科目及び単位表
- ・ NCD疫学リーダーコース授業科目及び単位数表
- ・ がん専門医医療人養成コース授業科目及び単位数表
- ・ 地域で活躍する法医臨床医・法歯科医養成コース授業科目及び単位数表
- ・ 教員の主な研究内容等
- ・ 博士課程研究指導の方法及び内容
- ・ 研究指導計画書（見本）
- ・ P h D－MD制度
- ・ 大学院（博士課程）における大学院設置基準第 14 条特例の適用に関する申し合わせ



## 令和4年度 大学院医学系研究科博士課程 学年暦

行 事	日 程
前期（4月1日（金）～ 9月30日（金））	
学年開始	4月 1日（金）
入学宣誓式・新入生履修指導（春季）	4月 5日（火）
前期授業期間	4月 8日（金）～ 7月29日（金）
ポスター発表会	7月 6日（水）～ 7月12日（火）
補講期間	8月 1日（月）～ 8月 8日（月）
夏季休業	8月 9日（火）～ 9月30日（金）
大学院医学系研究科（博士課程）秋季入学試験	9月 1日（木）
学位授与式（秋季）	10月 3日（月）
学位論文研究発表会（第1回）	8月23日（火）～ 8月25日（木）
集中講義（テクニカルセミナー）	9月13日（火）～ 9月16日（金）
後期（10月 1日（土）～ 3月31日（金））	
入学宣誓式・新入生履修指導（秋季）	10月 3日（月）
後期授業期間（前半）	10月 3日（月）～ 12月19日（月）
大学院医学系研究科（博士課程）入学試験	
冬季休業	12月20日（火）～ 1月 3日（火）
後期授業期間（後半）	1月 4日（水）～ 2月14日（火）
学位論文研究発表会（第2回）	1月24日（火）～ 1月27日（金）
春季休業	2月15日（水）～ 3月31日（金）
学位授与式（春季）	3月10日（金）
学年終了	3月31日（金）

【備考】

- 1) 定期健康診断の日程は、別途通知する。
- 2) 10月28日（金）は、学園祭（若鮎祭）の開催にともない休講とする。
- 3) その他、学年暦に変更があった場合は、その都度通知する。

# 滋賀医科大学の理念・使命

Philosophy, Goal and Mission of Shiga University of Medical Science

## 理念

Our Philosophy

地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与する。

As the university which is supported by its local community, contributes to the community and plays an active part in the world, we contribute to development of medical and nursing science and promotion of human health.

## 使命

Our Missions

大学院は、医学及び看護学の領域において、優れた研究者及び高度な知識と技術をもつ専門家を養成することを目的とし、もって、医学及び看護学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とする。  
(国立大学法人滋賀医科大学大学院学則第2条より抜粋)

We strive to nurture outstanding researcher and expert with advanced knowledge and capability in medicine and nursing. Our mission is to apply advances in medicine and nursing to the betterment of welfare in our society. (Article 2 of the Regulations of Shiga University of Medical Science)

## 大学院医学系研究科博士課程教育目標

大学院医学系研究科博士医学専攻では、本学の使命のもと、高度な知識と技術をもつ専門家を養成し、教育・研究・実践の場で高度な専門性とリーダーシップを発揮し、豊かな学識に基づいた広い視野を持って、自立して活動することにより、次のような能力を備えた人材育成を目指しています。

### 高度な教養と倫理観

先端的な医学研究を推進するために必要な豊かな教養と確固たる倫理観を醸成し、科学的探究心を養成する。

### 高度な専門性とリーダーシップ

高度な医学研究に関する高い専門的知識や技能と、教育・研究・実践の場で発揮できるリーダーシップを養成する。

### 独創性と国際性

自らの構想による独創的な研究を推進し、国際的な視野を持ち、世界に向けて研究成果を発信できる能力を養成する。

### 社会への貢献

優れた医師や医療従事者を育成する教育活動を実施する能力や、医学の進歩と社会福祉の向上に寄与し、地域医療に貢献することができる能力を養成する。

# 大学院医学系研究科博士課程の三つのポリシー（方針）

## 課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

大学院医学系研究科博士課程においては、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、必要な単位を修得のうえ、審査及び試験に合格し、次のとおり優れた知識と能力を身につけた学生に学位（医学専攻：博士（医学））を授与します。

1. 医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を身につけている。
2. 医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を身につけている。
3. 自立して研究を推進し、世界に向けて研究成果を発信することができる。
4. 医学研究や医療の推進を通じて社会に貢献することができる。
5. これに加え、コース毎に下記の能力を有することを修了の要件とする。
  - （1）先端医学研究者コースでは、最先端の専門的知識を持ち、産官学におけるリーダーとして国際的に活躍できる。
  - （2）高度医療人コースでは、専門医としてふさわしい知識と医療技術を持ち、医療現場でリーダーとして活躍できる。
  - （3）学際的医療人コースでは、医学と他分野を融合する学際的知識と研究能力を備えている。
  - （4）NCD疫学リーダーコースでは、疫学・臨床疫学の研究能力と産官学の分野でリーダーとなる現場力を持ち、英語に習熟し国際人として活躍できる。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

大学院医学系研究科博士課程医学専攻では、ディプロマ・ポリシーに定める高度な知識・技術・能力を修得するため、次のとおり教育課程を編成します。

### 1. 教育課程の編成の方針

共通科目（またはコア領域）では、医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得するとともに、医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を修得する。

選択科目では、各専門領域における研究分野の講義、演習、実習により、最先端の知識と研究技術を修得し、自立して研究を遂行できる能力を養成する。

### 2. 教育課程における教育・学修方法に関する方針

（1）1専攻4コースとすることで、すべての大学院担当教員による横断的で有機的な教育・研究指導体制とする。また、複数指導教員制とする。

（2）先端医学研究者コース・高度医療人コース及び学際的医療人コースには、共通科目と選択科目をおく。

共通科目としては以下の授業科目を学修する。

①医学総合特論及びテクニカルセミナーでは、医学研究者として必要な専門的知識と研究技術を修得する。

②医学生命倫理学概論では、医学倫理、生命倫理、研究倫理についての十分な知識と倫理観を修得する。

③疫学・医療統計学概論では、医学研究にとって必要な疫学・統計学の知識を修得する。

④基礎と臨床の融合セミナーでは、基礎と臨床の枠を越えた知識と考え方を学ぶ。

選択科目では、各専門領域の最先端の知識と研究技術を学修し、自立して研究を遂行できる能力を修得する。

（3）各コース毎に下記の特色あるコース科目を設ける。

①先端医学研究者コースでは、先端的で特色ある研究に触れる機会を設けるとともに、研究倫理の基礎や最先端の研究技法を修得し、自立して研究を遂行できる能力を修得する。

②高度医療人コースでは、臨床研究に重点を置き、医療倫理学や法制学を学び、医療現場でリーダーとして活躍できる能力を育成する。さらに専門医としてふさわしい医療技術を修得させ、専門医の資格取得を支援する。

- ③学際的医療人コースでは、医学に加え工学や理学等、学際的な知識と研究方法を教授し、産学連携の場で活躍できる能力を修得する。
- ④NCD 疫学リーダーコースでは、非感染性疾患（NCD）の疫学・臨床疫学・公衆衛生を修得させ、NCD 克服のために産官学の分野において国際的に活躍するリーダーを養成する。科目は、コア領域、支援領域及び実習に分類される。実習には、学外でのインターンシップも含まれる。

### 3. 学修成果の評価の方針

学修の成果は、シラバスに記載された学修目標について、試験及びレポート等、多面的な評価方法により到達状況を客観的に評価する。

研究の進捗状況については、第3学年にポスター発表による研究基礎力試験（QE）を行い評価し、研究指導計画書の点検を行う。

学位論文の審査は、厳格性と透明性を確保するために公開で行い、知識、能力、発展性等について評価する。

## 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

### 求める学生像

本学の理念に基づき、優れた医学研究者や医療人となるのに必要な学識・能力・技能を修得する素養を持ち、高度な医学研究能力の修得に真摯に、また熱意を持って取り組む、次のような人材を求めている。

1. 医学・医療・生命科学や、医学と他分野との融合領域において、科学の探究を通して医学・医療の進歩・発展に寄与し、社会に貢献したいという意欲を持つ者
2. 国際的視野を持ち、世界的に活躍しようという意欲ある者
3. 生命に対する尊厳の気持ちを有し、確固たる倫理観を有する者
4. 産官学の広い分野で、疾病克服のためのリーダーとして活躍しようという意欲のある者

### 入学者選抜の基本方針

・先端医学研究者コース・高度医療人コース・学際的医療人コース

1. 医学・医療・生命科学や、医学と他分野との融合領域に分けて、その基礎知識と思考能力を問う「医学・生命科学一般」の試験を実施する。
2. 国際的視野と表現力を問う「外国語（英語）」の試験を実施する。
3. 研究意欲、協調性、倫理観等を確認する面接試験を実施する。

### NCD疫学リーダーコース

1. 非感染性疾患（NCD）克服のための基礎知識を問う「小論文」の試験を実施する。
2. 国際的視野と表現力を問う「外国語（英語）」の試験を実施する。
3. 研究意欲、協調性、倫理観、語学力等を確認する英語による面接試験を実施する。
4. NCD克服に関する意欲、経験、語学力を確認する提出書類により評価する。



# 大学院医学系研究科博士課程の概要

## Outline of Doctoral Program, Graduate School of Medicine

### 教育研究上の目的

#### Objectives

大学院医学系研究科博士課程は、自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識及び人間性を備えた優れた研究者及び医療人を育成し、併せて医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することができる人材の育成を目的とする。

This program is intended to educate able researchers in medical science so they may contribute to the development of medicine and the improvement of social welfare. Students will be provided with a wide breadth and depth of knowledge and skills to allow them to work creatively and independently.

### カリキュラムの特徴

#### Features of the Curriculum

博士課程は、本学の研究実績と先進的な研究分野を組み入れ、各研究領域を横断した総合的な教育・研究体制に編成し、地域の要請に応えるとともに、他分野との学際的な人材育成にも対応できるように、1専攻4コース並びに「がん専門医療人養成コース」「Forensic Generalist, Forensic Specialist 養成コース（地域で活躍する法医臨床医・法歯科医養成コース）」により構成されている。

博士課程では、従来の講座主導型の研究指導体制から離れ、また、基礎と臨床にとらわれることなく、教員が相互に緊密な連絡をはかりながら、それぞれの専門研究を通して大学院学生の教育と研究を支援し、独創的な研究の育成をはかる。

博士課程の第1～2学年では共通科目を設け、研究に必要な基礎的知識と統計、分析、技能を修得するとともに医学倫理、研究倫理について学ぶ。また、コース毎に研究の進展に必要な科目を選択とし、研究者個人の独創性を重視し、優れた研究成果がえられるよう工夫している。

We have organized our Doctoral Program into 1 Specialty subdivided into 4 Courses, and “Oncology Specialist Training Course” .

Free from conventional departmental limitations on research guidance, the academic staff support the education and research work of graduate students, while maintaining close liaison with one another beyond the normal scope of basic medical and clinical departments.

During the first and second years of the program, through the Core Curriculum common, students acquire extensive knowledge of key areas including statistics, experimental design, analysis, and other skills fundamental to research. In addition, they will receive instruction in the ethical issues involved in medical research. The curriculum is designed to give great emphasis to the success and creativity of graduate students' research.

# 博士課程カリキュラムツリー

4	<b>学位論文 (博士)</b>			<b>学位予備審査</b>
				<b>実習</b> 学外武者修行
3	<b>選択科目</b>			<b>実習</b> アジア・フィールドワーク
	<p>先端医学研究者コース</p> <p>医療画像学実習 核磁気共鳴医学実習 細胞生理学実習 分子細胞生物学実習 遺伝子情報学実習 分子神経形態学実習 神経科学実習 先端法医学実習 神経病態学実習 分子精神科学実習 睡眠精神医学実習 視覚病態生理学実習 免疫制御学実習 内分泌制御学実習 生殖生理学実習 ・ ・ ・ ほか全38科目から6単位</p>	<p>高度医療人コース</p> <p>臨床法医学実習 循環器・呼吸器内科学実習 消化器・血液内科学実習 内分泌代謝・腎臓内科学実習 神経内科学実習 小児科学実習 精神医学実習 皮膚科学実習 消化器・乳腺・一般外科学実習 心臓血管・呼吸器外科学実習 整形外科実習 脳神経外科学実習 耳鼻咽喉科学実習 産科学・婦人科学実習 泌尿器科学実習 ・ ・ ・ ほか全42科目から6単位</p>	<p>学際的医療人コース</p> <p>生体画像工学実習 生体情報工学実習 産業医学実習 解剖生理学実習 再生医学実習 生殖機能制御学実習 遺伝子工学実習 学際的疼痛治療学実習 システム生理学実習 組織工学実習 生体材料学実習 医用光工学実習 ロボティクス実習 人工臓器学実習 神経科学研究 神経薬理学研究 から6単位</p>	
<b>QE (Qualifying Examination: 研究基礎力試験)</b>				<b>QE</b>
2	<b>基礎と臨床の融合セミナー</b>			<b>実習</b> 研究計画の鍛錬 学外研究機関短期研修 健康関連産業研修
	<p>基礎と外科学の融合セミナー 基礎と内科学の融合セミナー 基礎と小児科学の融合セミナー 基礎と老年病学の融合セミナー 基礎と生活習慣病学の融合セミナー 基礎と腫瘍学の融合セミナー から4単位以上</p>			<p style="text-align: center;"><b>QE</b></p> <p style="text-align: center;"><b>NCD疫学リーダーコースコア領域</b></p> <p>公衆衛生クラスタ 医学統計クラスタ NCD疫学クラスタ 国際交流クラスタ から12単位必修</p>
1	<b>コース科目</b>			<b>支援領域</b> NCD臨床クラスタ NCD臨床総論 多分野横断クラスタ 産業医学
	<p>パイオニアセミナー 先端医学研究技法</p>	<p>臨床医学研究総論 疫学・医療統計学 医療倫理学法制総論</p>	<p>基礎医学総論 臨床医学総論 バイオ医療学 ゲノムサイエンス バイオインフラマティクス イオンチャネル機能解析学 医療イノベーション総論 (講義) 医療イノベーション総論 (実習) 感染症学総論</p>	
<b>基盤教育群</b>				<b>コア領域</b>
<p>医学総合特論 テクニカルセミナー 医学・生命倫理学概論 疫学・医療統計学概論</p>				<p>公衆衛生クラスタ 公衆衛生学概論 医学統計クラスタ 疫学研究概論 臨床試験概論 生物統計学概論 NCD疫学クラスタ NCD疫学総論 国際交流クラスタ アジア文化・倫理の理解</p>
<b>先端医学研究者コース</b>		<b>高度医療人コース</b>		<b>学際的医療人コース</b>
				<p>医療データサイエンスを基盤とするグローバルリーダー育成プログラム</p>
				<b>NCD疫学リーダーコース</b>

博士課程カリキュラムツリー

4	学位論文 (博士)												
3	<p style="text-align: center;">コース選択科目</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 臨床腫瘍学実習                  がんゲノム医療学実習                  遺伝統計学実習                  バイオインフォマティクス実習                  呼吸器内科学実習                  血液内科学実習                  消化器内科学実習                  小児科学実習                  皮膚科学実習                  消化器外科学実習                  乳腺・一般外科学実習                  呼吸器外科学実習                  整形外科実習                  脳神経外科学実習                  耳鼻咽喉科学実習                  産科学・婦人科学実習                  泌尿器科学実習                  眼科学実習                  ・                  ・                  ・                  ほか全22科目から4単位以上             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 臨床腫瘍学実習                  がんゲノム医療学実習                  遺伝統計学実習                  バイオインフォマティクス実習                  から4単位以上             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 がん薬物療法学実習                  臨床腫瘍学実習                  がんゲノム医療学実習                  遺伝統計学実習                  血液内科学実習                  から4単位以上             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 生体物理医学実習                  免疫学実習                  遺伝子工学実習                  組織工学実習                  呼吸器内科学実習                  血液内科学実習                  消化器内科学実習                  小児科学実習                  皮膚科学実習                  消化器外科学実習                  乳腺・一般外科学実習                  呼吸器外科学実習                  整形外科実習                  脳神経外科学実習                  耳鼻咽喉科学実習                  産科学・婦人科学実習                  泌尿器科学実習                  眼科学実習                  ・                  ・                  ・                  ほか全22科目から4単位以上             </td> </tr> </table>				臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 バイオインフォマティクス実習 呼吸器内科学実習 血液内科学実習 消化器内科学実習 小児科学実習 皮膚科学実習 消化器外科学実習 乳腺・一般外科学実習 呼吸器外科学実習 整形外科実習 脳神経外科学実習 耳鼻咽喉科学実習 産科学・婦人科学実習 泌尿器科学実習 眼科学実習 ・ ・ ・ ほか全22科目から4単位以上	臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 バイオインフォマティクス実習 から4単位以上	がん薬物療法学実習 臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 血液内科学実習 から4単位以上	生体物理医学実習 免疫学実習 遺伝子工学実習 組織工学実習 呼吸器内科学実習 血液内科学実習 消化器内科学実習 小児科学実習 皮膚科学実習 消化器外科学実習 乳腺・一般外科学実習 呼吸器外科学実習 整形外科実習 脳神経外科学実習 耳鼻咽喉科学実習 産科学・婦人科学実習 泌尿器科学実習 眼科学実習 ・ ・ ・ ほか全22科目から4単位以上	<p style="text-align: center;">コース必修科目 8単位 + コース選択科目 10単位以上</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                 生体鑑定学実習                  グリーフケア実習                  法医病理学実習                  法中毒学                  エキスパート法医学実習                  犯罪学特論             </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                 顎顔面外傷実習                  法歯学                  生体鑑定学実習                  DNA鑑定実習                  法中毒学                  犯罪学特論             </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;">                 エキスパート法医学実習                  法中毒学                  外傷学特論                  法医病理学実習                  DNA鑑定実習                  法医臨床検査実習             </td> </tr> </table>		生体鑑定学実習 グリーフケア実習 法医病理学実習 法中毒学 エキスパート法医学実習 犯罪学特論	顎顔面外傷実習 法歯学 生体鑑定学実習 DNA鑑定実習 法中毒学 犯罪学特論	エキスパート法医学実習 法中毒学 外傷学特論 法医病理学実習 DNA鑑定実習 法医臨床検査実習
臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 バイオインフォマティクス実習 呼吸器内科学実習 血液内科学実習 消化器内科学実習 小児科学実習 皮膚科学実習 消化器外科学実習 乳腺・一般外科学実習 呼吸器外科学実習 整形外科実習 脳神経外科学実習 耳鼻咽喉科学実習 産科学・婦人科学実習 泌尿器科学実習 眼科学実習 ・ ・ ・ ほか全22科目から4単位以上	臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 バイオインフォマティクス実習 から4単位以上	がん薬物療法学実習 臨床腫瘍学実習 がんゲノム医療学実習 遺伝統計学実習 血液内科学実習 から4単位以上	生体物理医学実習 免疫学実習 遺伝子工学実習 組織工学実習 呼吸器内科学実習 血液内科学実習 消化器内科学実習 小児科学実習 皮膚科学実習 消化器外科学実習 乳腺・一般外科学実習 呼吸器外科学実習 整形外科実習 脳神経外科学実習 耳鼻咽喉科学実習 産科学・婦人科学実習 泌尿器科学実習 眼科学実習 ・ ・ ・ ほか全22科目から4単位以上										
生体鑑定学実習 グリーフケア実習 法医病理学実習 法中毒学 エキスパート法医学実習 犯罪学特論	顎顔面外傷実習 法歯学 生体鑑定学実習 DNA鑑定実習 法中毒学 犯罪学特論	エキスパート法医学実習 法中毒学 外傷学特論 法医病理学実習 DNA鑑定実習 法医臨床検査実習											
2	<p style="text-align: center;">コース必修科目</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 がん薬物療法学総論                  がん薬物療法学特論                  がん薬物療法学実習             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 臨床腫瘍薬理学総論                  臨床腫瘍薬理学特論                  臨床腫瘍薬理学実習             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 小児科学総論                  小児科学特論                  小児科学実習             </td> <td style="width: 25%; vertical-align: top;">                 がん病態制御学総論                  がん病態制御学特論                  がん病態制御学実習             </td> </tr> </table>				がん薬物療法学総論 がん薬物療法学特論 がん薬物療法学実習	臨床腫瘍薬理学総論 臨床腫瘍薬理学特論 臨床腫瘍薬理学実習	小児科学総論 小児科学特論 小児科学実習	がん病態制御学総論 がん病態制御学特論 がん病態制御学実習	法 医 臨 床 医 養 成 コ ー ス	法 歯 科 医 養 成 コ ー ス	法 医 専 門 医 養 成 コ ー ス		
がん薬物療法学総論 がん薬物療法学特論 がん薬物療法学実習	臨床腫瘍薬理学総論 臨床腫瘍薬理学特論 臨床腫瘍薬理学実習	小児科学総論 小児科学特論 小児科学実習	がん病態制御学総論 がん病態制御学特論 がん病態制御学実習										
1	<p style="text-align: center;">全コース</p> <p style="text-align: center;">共通必修科目</p> <p>がん基礎学 ゲノム医学 緩和ケア学</p> <p style="text-align: center;">共通選択科目</p> <p>腫瘍薬理学 放射線腫瘍学 生命倫理学 医療統計学</p>				<p style="text-align: center;">全コース共通</p> <p>臨床法医学実習 個人識別学 法医画像診断学</p>								
高度医療人コース													
がん専門医療人養成コース			基礎研究医養成コース (法医学)										

博士課程 授業科目

	授業科目	選択・必修	学年	単位数	学科	学科 コード	領域・分野	領域・分野 コード	科目別 通し番号	水準・難易度	水準・難易度 コード	科目ナンバー
基礎 教育 群	医学総合特論	必修	1	6	博士	3	基礎教育群	01	001	専門基礎	2	3010012
	テクニカルセミナー	必修	1	2	博士	3	基礎教育群	01	002	専門基礎	2	3010022
	医学・生命倫理学概論	必修	1	1	博士	3	基礎教育群	01	003	専門基礎	2	3010032
	疫学・医療統計学概論	必修	1	1	博士	3	基礎教育群	01	004	専門基礎	2	3010042
基礎と臨床の融合セミナー	基礎と外科学の融合セミナー	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	001	専門基礎	2	3020012
	基礎と内科学の融合セミナー	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	002	専門基礎	2	3020022
	基礎と小児科学の融合セミナー	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	003	専門基礎	2	3020032
	基礎と老年病学の融合セミナー	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	004	専門基礎	2	3020042
	基礎と生活習慣病学の融合セ	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	005	専門基礎	2	3020052
	基礎と腫瘍学の融合セミナー	選択必修	2	2	博士	3	基礎と臨床の融合セミナー	02	006	専門基礎	2	3020062
先端 医学 研究 者 コ ー ス	バイオニアセミナー	必修	1	2	博士	3	先端医学研究者コース	03	001	専門応用	3	3030013
	先端医学研究技法	必修	1	2	博士	3	先端医学研究者コース	03	002	専門応用	3	3030023
	医療画像学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	003	専門応用	3	3030033
	核磁気共鳴医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	004	専門応用	3	3030043
	細胞生理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	005	専門応用	3	3030053
	分子細胞生物学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	006	専門応用	3	3030063
	遺伝子情報学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	007	専門応用	3	3030073
	分子神経形態学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	008	専門応用	3	3030083
	神経科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	009	専門応用	3	3030093
	先端法医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	010	専門応用	3	3030103
	神経病態学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	011	専門応用	3	3030113
	分子精神科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	012	専門応用	3	3030123
	睡眠精神医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	013	専門応用	3	3030133
	視覚病態生理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	014	専門応用	3	3030143
	免疫制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	015	専門応用	3	3030153
	内分泌制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	016	専門応用	3	3030163
	生殖生理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	017	専門応用	3	3030173
	周産期病態学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	018	専門応用	3	3030183
	発生工学・制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	019	専門応用	3	3030193
	幹細胞学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	020	専門応用	3	3030203
	腫瘍医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	021	専門応用	3	3030213
	病理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	022	専門応用	3	3030223
	実験動物学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	023	専門応用	3	3030233
	脳機能制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	024	専門応用	3	3030243
	循環器制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	025	専門応用	3	3030253
	プライマリーケア医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	026	専門応用	3	3030263
	呼吸器学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	027	専門応用	3	3030273
	口腔顎機能制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	028	専門応用	3	3030283
	頭頸部制御外科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	029	専門応用	3	3030293
	消化器制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	030	専門応用	3	3030303
	皮膚科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	031	専門応用	3	3030313
	疼痛治療学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	032	専門応用	3	3030323
	腎・泌尿器制御学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	033	専門応用	3	3030333
	分子薬理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	034	専門応用	3	3030343
	薬剤学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	035	専門応用	3	3030353
	疫学研究実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	036	専門応用	3	3030363
	ジェンダー論実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	037	専門応用	3	3030373
	栄養治療学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	038	専門応用	3	3030383
	再生修復医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	039	専門応用	3	3030393
	神経薬理学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	先端医学研究者コース	03	040	専門応用	3	3030403
高度 医療 人 コ ー ス	臨床医学研究総論	必修	1	2	博士	3	高度医療人コース	04	001	専門応用	3	3040013
	疫学・医療統計学	必修	1	1	博士	3	高度医療人コース	04	002	専門応用	3	3040023
	医療倫理学法制総論	必修	1	1	博士	3	高度医療人コース	04	003	専門応用	3	3040033
	臨床法医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	004	専門応用	3	3040043
	循環器・呼吸器内科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	005	専門応用	3	3040053
	消化器・血液内科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	006	専門応用	3	3040063
	内分泌代謝・腎臓内科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	007	専門応用	3	3040073
	神経内科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	008	専門応用	3	3040083
	小児科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	009	専門応用	3	3040093
	精神医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	010	専門応用	3	3040103
	皮膚科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	011	専門応用	3	3040113
	消化器・乳腺・一般外科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	012	専門応用	3	3040123
	心臓血管・呼吸器外科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	013	専門応用	3	3040133
	整形外科実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	014	専門応用	3	3040143
	脳神経外科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	015	専門応用	3	3040153
	耳鼻咽喉科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	016	専門応用	3	3040163
	産科学・婦人科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	017	専門応用	3	3040173
	泌尿器科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	018	専門応用	3	3040183
	眼科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	019	専門応用	3	3040193
	麻酔学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	020	専門応用	3	3040203
	放射線医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	021	専門応用	3	3040213
	家庭医療学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	022	専門応用	3	3040223
	歯科口腔外科学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	023	専門応用	3	3040233
	臨床腫瘍学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	024	専門応用	3	3040243
	臨床検査医学実習	選択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	025	専門応用	3	3040253

	救急集中治療医学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	026	専門応用	3	3040263
	病理診断学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	027	専門応用	3	3040273
	臨床薬理学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	028	専門応用	3	3040283
	先端臨床検査技術実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	高度医療人コース	04	029	専門応用	3	3040293
学 際 的 医 療 人 コ ー ス	基礎医学総論 (iKODEプログラ	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	001	専門応用	3	3050013
	臨床医学総論 (iKODEプログラ	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	002	専門応用	3	3050023
	バイオ医療学	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	003	専門応用	3	3050033
	ゲノムサイエンス	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	004	専門応用	3	3050043
	バイオインファマティクス	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	005	専門応用	3	3050053
	イオンチャネル機能解析学	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	006	専門応用	3	3050063
	医療イノベーション総論 (講義)	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	007	専門応用	3	3050073
	医療イノベーション総論 (実習)	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	008	専門応用	3	3050083
	感染症学総論	選択必修	1	1	博士	3	学際的医療人コース	05	009	専門応用	3	3050093
	生体画像工学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	010	専門応用	3	3050103
	生体情報工学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	011	専門応用	3	3050113
	産業医学実習 ※1	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	012	専門応用	3	3050123
	解剖生理学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	013	専門応用	3	3050133
	再生医学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	014	専門応用	3	3050143
	生殖機能制御学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	015	専門応用	3	3050153
	遺伝子工学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	016	専門応用	3	3050163
	学際的疼痛治療学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	017	専門応用	3	3050173
	システム生理学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	018	専門応用	3	3050183
	組織工学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	019	専門応用	3	3050193
	生体材料学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	020	専門応用	3	3050203
	医用光工学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	021	専門応用	3	3050213
	ロボティクス実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	022	専門応用	3	3050223
	人工臓器学実習	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	023	専門応用	3	3050233
神経科学研究	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	024	専門応用	3	3050243	
神経薬理学研究	選 択	2~3	4 (2・2)	博士	3	学際的医療人コース	05	025	専門応用	3	3050253	



博士課程 授業科目NCD疫学リーダーコース

		授業科目	選択・必修	学年	単位	学科	学科 コード	領域・分野	領域・分野 コード	科目別 通し番号	水準・難易度	水準・難易度 コード	科目ナンバー
コア領域	公衆衛生	公衆衛生学概論	必修	1	2	博士	3	NCDコア領域	06	001	専門応用	3	3060013
		保健医療行政論	必修	2	2	博士	3	NCDコア領域	06	002	専門応用	3	3060023
	医学統計	疫学研究概論	必修	1	2	博士	3	NCDコア領域	06	003	専門応用	3	3060033
		臨床試験概論	必修	1	2	博士	3	NCDコア領域	06	004	専門応用	3	3060043
		生物統計学概論	必修	1	2	博士	3	NCDコア領域	06	005	専門応用	3	3060053
	NCD疫学	NCD疫学総論	必修	1	4	博士	3	NCDコア領域	06	006	専門応用	3	3060063
		社会疫学総論	選択	2	2	博士	3	NCDコア領域	06	007	専門応用	3	3060073
	国際交流	アジア文化・倫理の理解	必修	1	2	博士	3	NCDコア領域	06	008	専門応用	3	3060083
		発表技法と熟議	必修	2	2	博士	3	NCDコア領域	06	009	専門応用	3	3060093
支援領域	NCD臨床	NCD臨床総論	選択必修	1	2	博士	3	NCD支援領域	07	001	専門応用	3	3070013
		基礎医学から地域医療への展開	選択必修	2	2	博士	3	NCD支援領域	07	002	専門応用	3	3070023
	海外技術支援	産業医学	選択必修	1	1	博士	3	NCD支援領域	07	003	専門応用	3	3070033
実習		研究計画の鍛錬	必修	2	4	博士	3	NCD実習	08	001	専門応用	3	3080013
		学外研究機関短期研修	選択	2	2	博士	3	NCD実習	08	002	専門応用	3	3080023
		健康関連産業研修	選択	2	2	博士	3	NCD実習	08	003	専門応用	3	3080033
		アジア・フィールドワーク	選択	3	2	博士	3	NCD実習	08	004	専門応用	3	3080043
		学外武者修行	必修	4	4	博士	3	NCD実習	08	005	専門応用	3	3080053





# 博士 法医

授業科目名	必修・選択	学年	単位数	学科	学科コード	領域・分野	領域・分野	科目別 通し番号	水準・難易 度	水準・難易 度	科目ナン バー
臨床法医学実習	必修	1	4	博士	3	法医全コース共通	14	001	専門応用	3	3140013
個人識別学	必修	1	4	博士	3	法医全コース共通	14	002	専門応用	3	3140023
法医画像診断学	必修	1	4	博士	3	法医全コース共通	14	003	専門応用	3	3140033
生体鑑定学実習	必修	2～3	4	博士	3	法医臨床医養成コース	15	001	専門応用	3	3150013
グリーフケア実習	必修	2～3	4	博士	3	法医臨床医養成コース	15	002	専門応用	3	3150023
法医病理学実習	選択	2～3	4	博士	3	法医臨床医養成コース	15	003	専門応用	3	3150033
法中毒学	選択	2～3	4	博士	3	法医臨床医養成コース	15	004	専門応用	3	3150043
エキスパート法医学実習	選択	2～3	4	博士	3	法医臨床医養成コース	15	005	専門応用	3	3150053
犯罪学特論	選択	2～3	2	博士	3	法医臨床医養成コース	15	006	専門応用	3	3150063
顎顔面外傷実習	必修	2～3	4	博士	3	法歯科医養成コース	16	001	専門応用	3	3160013
法歯学	必修	2～3	4	博士	3	法歯科医養成コース	16	002	専門応用	3	3160023
生体鑑定学実習	選択	2～3	4	博士	3	法歯科医養成コース	16	003	専門応用	3	3160033
DNA鑑定実習	選択	2～3	4	博士	3	法歯科医養成コース	16	004	専門応用	3	3160043
法中毒学	選択	2～3	4	博士	3	法歯科医養成コース	16	005	専門応用	3	3160053
犯罪学特論	選択	2～3	2	博士	3	法歯科医養成コース	16	006	専門応用	3	3160063
エキスパート法医学実習	必修	2～3	4	博士	3	法医専門医療養成コース	17	001	専門応用	3	3170013
法中毒学	必修	2～3	4	博士	3	法医専門医療養成コース	17	002	専門応用	3	3170023
外傷学特論	選択	2～3	4	博士	3	法医専門医療養成コース	17	003	専門応用	3	3170033
法医病理学実習	選択	2～3	4	博士	3	法医専門医療養成コース	17	004	専門応用	3	3170043
DNA鑑定実習	選択	2～3	4	博士	3	法医専門医療養成コース	17	005	専門応用	3	3170053
法医臨床検査実習	選択	2～3	2	博士	3	法医専門医療養成コース	17	006	専門応用	3	3170063



# 履 修 要 項

## 授業科目の履修方法

### 【先端医学研究者コース・高度医療人コース・学際的医療人コース】

1. 第1～3学年において、「基盤教育群」（コース共通科目）の必修科目から10単位、「基礎と臨床の融合セミナー」（コース共通科目）の選択必修科目から4単位以上、「コース科目」の必修科目（先端医学研究者コース及び高度医療人コース）から4単位又は選択必修科目（学際的医療人コース）から4単位以上、「選択科目」から12単位以上（原則として所属コースの選択科目から12単位以上を選択するものとするが、希望する場合は、4単位まで他のコースの選択科目から履修できるものとする。）を修得し、合計30単位以上を履修するものとする。
2. 高度医療人コース「がん専門医療人養成コース」については、全コース共通必修科目から6単位、全コース共通選択科目から4単位以上、コース必修科目から16単位、コース選択科目から4単位以上、合計30単位以上を修得するものとする。
3. 高度医療人コース「地域で活躍する法医臨床医・法歯科医養成コース」については、全コース共通必修科目から12単位、全コース共通選択科目から8単位以上、コース必修科目から10単位、合計30単位以上を修得するものとする。
4. 第3・4学年においては、指導教員の下で、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に従事し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

### 【NCD疫学リーダーコース】

1. 1年次、2年次、3年次、4年次において、コア領域の必修科目から18単位、支援領域の選択必修科目から2単位、実習の必修科目から8単位、選択科目から2単位以上を修得し、合計30単位以上を履修するものとします。なお、カリキュラムは変更する場合があります。
2. 2年次から指導教員の指示の下、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に専念し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養います。

### 【全コース共通科目】

（※がん専門医療人養成コースおよびNCD疫学リーダーコースを除く。）

1. 医学総合特論について
  - (1) 全コース共通の6単位必修科目となっています。出席をとります。
  - (2) 講義日程については、配付資料のとおりです。以下の4つの講義の形態で構成しています。
  - (3) 年間を通して15回以上出席してください。出席回数が15回未満になると単位が与えられません。社会人入学者については2年間で履修可能です。その場合は学生課大学院教育支援係まで申し出てください。
    - ・通常講義：毎週 月曜日 5時限目（18：10～19：50）
    - ・集中講義：テクニカルセミナー
    - ・認定講義：講演会、セミナー等が医学総合特論として認定される場合があります。出席した場合は、出席回数に数えられますので、「講演会・セミナー等出席状況シート」を期日月末までに提出してください。認定講義は随時、メールで通知します。
    - ・学 会：コースや今後の研究に関係がある学会・研究会に出席した場合は、3回まで出席回数に数えられます。（例：学会が2日間あり、2日間出席した場合は2回。）「講演会・セミナー等出席状況シート」に学会・研究会出席証明書のコピーを添付し学生課大学院教育支援係に提出してください。
2. 全コース共通必修科目の医学・生命倫理学概論、疫学・医療統計学概論についても1コマずつ予定表に組まれています。社会人入学者で勤務の都合上受講できない場合は、担当教員に連絡を取り、指示を仰いでください。
3. 全コース共通必修科目のテクニカルセミナーは、9月上旬に集中講義として開催しています。単位の修得には全12コマ中3コマ以上出席が必要です。

4. 第2学年次必修科目の基礎と臨床の融合セミナーについても1コマずつ医学総合特論の予定表に組み込まれています。毎月行われている「SUMS グランド・ラウンド」に出席した場合、基礎と臨床の融合セミナーの成績に加味されます。
5. 講義の変更等があれば、その都度メールで周知します。  
必ずマルチメディアセンターで、メールアドレスを取得してください。

#### 【コース授業科目について】

履修登録後、履修確認票を配付します。2年次履修科目については、2年次に履修登録を行います。選択科目については、主担当教員に連絡を取り、指示を仰いでください。※がん専門医療人養成コースおよびNCD疫学リーダーコースの方は履修要項を参照してください。(医学総合特論は聴講可能です。)

#### プロGRESS・レポート（ポスター発表会）について

第3学年次に研究基礎力試験(Qualifying Examination)としてプロGRESS・レポート(ポスター発表会)を行います。詳細については別途通知いたします。

#### 修了要件および学位授与について

(修了要件) 大学院学則第21条(抜粋)

博士課程の修了の要件は、大学院に4年以上在学し、第16条第2項に定める授業科目について、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

(学位)

(1) 学位論文の提出期限は、4年次の12月20日締切(土・日曜で変更有り)となっています。この場合、最低でもアクセプト=掲載予定証明書が必要です。

ただし、投稿受理書があれば、大学院委員会の議を経て1年間の出願の猶予が認められることがあります(単位修得退学)。外国雑誌へ投稿する場合は、相当長期間の審査を必要とする場合がありますので、指導教員とよく相談し、計画的に投稿するようにしてください。

(2) プレゼント・アドレス

特別研究学生等の身分で、他大学で研究指導を受け、他大学の研究成果をもとに学位論文を作成する場合はプレゼント・アドレス(本学(在籍大学)の名称)を論文に明記する必要があります。

#### 在学期間について

標準修学年限は4年。在学年限は、一般入学者は8年、社会人入学者は12年。

#### 在学期間の特例について

1. 本学大学院学則第21条に定める博士課程の修了要件のうち、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるとされています。この具体的な取扱いについては、学生課大学院教育支援係に相談してください。
2. 社会人入学者以外の者についても、2年次以降一定の要件を満たせば、在学のまま、常勤就労が可能です。詳しいことは学生課大学院教育支援係に相談してください。
3. 海外留学、国内留学、休・退学等、身分異動に係ることについては、関係委員会の承認を得るなどの手続きが必要ですので、指導教員に相談の上、遅くとも希望日の1ヶ月前には申し出てください。休学期間は1年以内ですが、1年を限度としてその期間を延長することができます。通算して4年を超えることはできません。なお、休学期間は在学期間に算入されません。

#### 教育方法の特例

大学院医学系研究科博士課程においては、大学院設置基準(昭和49年6月20日文部省令第28号)第14条に係る教育方法の特例を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行なうよう配慮する。

#### 学修成果の評価

1. 各授業科目の評価について、試験及びレポート等、多面的な評価方法により、秀(90点~100点)、優(80

点～89点)、良(70点～79点)、可(60点～69点)及び不可(60点未満)の5種の評語をもって表わし、秀、優、良、可を合格とし不可を不合格とします。

- 秀、優、良、可及び不可の評価基準は、次のとおりとします。
- (1) 秀：各授業科目に定める合格基準を達成し、特に優れた成果を修めている。
  - (2) 優：各授業科目に定める合格基準を達成し、優れた成果を修めている。
  - (3) 良：各授業科目に定める合格基準を達成し、良好な成果を修めている。
  - (4) 可：各授業科目に定める合格基準を達成している。
  - (5) 不可：各授業科目に定める合格基準を達成しておらず、不合格。

2. 研究の進捗状況については、第3学年にポスター発表による研究基礎力試験(QE)を行い評価し、研究指導計画書の点検を行います。
3. 学位論文の審査は、厳格性と透明性を確保するために公開で行い、知識、能力、発展性等について評価します。

### 成績評価に係る異議申し立て

1. 成績評価に係る異議は、次のいずれかに該当する場合に限り、申し立てることができます。
  - ア. 成績の誤記入等、明らかに担当教員の誤りであると思われるもの。
  - イ. シラバス等によりあらかじめ周知している成績評価の方法から、明らかに逸脱した評価であると思われるもの。
2. 次のいずれかに該当する場合は、異議を申し立てることはできません。
  - ア. 成績評価の理由や根拠についての異議を含むもの。
  - イ. その他自己都合によるもの。
3. 異議申し立ての手続きは、次のとおりです。
  - ア. 成績評価に係る異議を申し立てようとする者は、当該成績評価が開示された日の翌日から原則として3日以内に、「成績評価に係る異議申立書(様式)」を学生課大学院教育支援係へ提出してください。
  - イ. 異議申し立てへの回答に対して、再度異議を申し立てることはできません。

### GPA制度

学生の学修意欲の増進及び学修成果の明確化、並びに教員による学生への学習指導の促進を図り、教育の質の向上を果たすことを目的として、GPA制度を導入しています。

#### GPAについて

GPAとは、成績の評価に係る5種の評語に対してそれぞれ4～0のGrade Point(成績評価値。以下「GP」という。)を付与し、それをもって計算した各学生の履修科目の成績評価に係るGPの総和を基に算出した、1単位あたりの平均値です。

成績の評価に係る5種の評語に対してそれぞれ付与するGPは、次のとおりとします。

成績評価			GP
素点	評語(和文)	評語(英文)	
90～100点	秀	A <sup>+</sup>	4
80～89点	優	A	3
70～79点	良	B	2
60～69点	可	C	1
～59点	不可	F	0

## 学生証について

19時以降の校舎への入構及び附属図書館や研究施設を利用の際に必要となります。(本学職員の場合は、職員証で入構してください。)

破損・紛失等による交換は有料です。学生課窓口にて手続きを行ってください。

## 授業科目及び単位数表

### 医学専攻 先端医学研究者コース、高度医療人コース、学際的医療人コース

科目区分	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修
			講義	演習	実習	
共通	基盤教育群	医学総合特論	1～2	6		必修
		テクニカルセミナー	1～2		2	
		医学・生命倫理学概論	1～2	1		
		疫学・医療統計学概論	1～2	1		
	基礎と臨床の融合セミナー	基礎と外科学の融合セミナー	2		2	選択必修
		基礎と内科学の融合セミナー	2		2	
		基礎と小児科学の融合セミナー	2		2	
		基礎と老年病学の融合セミナー	2		2	
		基礎と生活習慣病学の融合セミナー	2		2	
		基礎と腫瘍学の融合セミナー	2		2	
コース科目	先端医学研究者コース	パイオニアセミナー	1		2	必修
		先端医学研究技法	1		2	
	高度医療人コース	臨床医学研究総論	1	2		必修
		疫学・医療統計学	1		1	
		医療倫理学法制総論	1	1		
	学際的医療人コース	基礎医学総論	1	1		選択必修
		臨床医学総論	1	1		
		バイオ医療学	1	1		
		ゲノムサイエンス	1	1		
		バイオインフアマティクス	1	1		
イオンチャネル機能解析学		1	1			
医療イノベーション総論		1	1			
感染症学総論	1	1	1			

医学専攻 先端医学研究者コース、高度医療人コース、学際的医療人コース

科目区分	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修
			講義	演習	実習	
選択科目	先端医学研究者コース	医療画像学実習			4(2・2)	選択
	核磁気共鳴医学実習	2・3			4(2・2)	
	細胞生理学実習	2・3			4(2・2)	
	分子細胞生物学実習	2・3			4(2・2)	
	遺伝子情報学実習	2・3			4(2・2)	
	分子神経形態学実習	2・3			4(2・2)	
	神経科学実習	2・3			4(2・2)	
	先端法医学実習	2・3			4(2・2)	
	神経病態学実習	2・3			4(2・2)	
	分子精神科学実習	2・3			4(2・2)	
	睡眠精神医学実習	2・3			4(2・2)	
	視覚病態生理学実習	2・3			4(2・2)	
	免疫制御学実習	2・3			4(2・2)	
	内分泌制御学実習	2・3			4(2・2)	
	生殖生理学実習	2・3			4(2・2)	
	周産期病態学実習	2・3			4(2・2)	
	発生工学・制御学実習	2・3			4(2・2)	
幹細胞学実習	2・3			4(2・2)		
選択科目	先端医学研究者コース	腫瘍医学実習			4(2・2)	選択
	病理学実習	2・3			4(2・2)	
	実験動物学実習	2・3			4(2・2)	
	脳機能制御学実習	2・3			4(2・2)	
	循環器制御学実習	2・3			4(2・2)	
	プライマリーケア医学実習	2・3			4(2・2)	
	呼吸器学実習	2・3			4(2・2)	
	口腔顎機能制御学実習	2・3			4(2・2)	
	頭頸部制御外科学実習	2・3			4(2・2)	
	消化器制御学実習	2・3			4(2・2)	
	皮膚科学実習	2・3			4(2・2)	
	疼痛治療学実習	2・3			4(2・2)	
	腎・泌尿器制御学実習	2・3			4(2・2)	
	分子薬理学実習	2・3			4(2・2)	
	薬剤学実習	2・3			4(2・2)	
	疫学研究実習	2・3			4(2・2)	
	ジェンダー論実習	2・3			4(2・2)	
栄養治療学実習	2・3			4(2・2)		
再生修復医学実習	2・3			4(2・2)		
神経薬理学実習	2・3			4(2・2)		

医学専攻 先端医学研究者コース、高度医療人コース、学際的医療人コース

科目区分	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修
			講義	演習	実習	
選択科目	高度医療人コース	臨床法医学実習			4(2・2)	選択
		循環器・呼吸器内科学実習	2・3		4(2・2)	
		消化器・血液内科学実習	2・3		4(2・2)	
		内分泌代謝・腎臓内科学実習	2・3		4(2・2)	
		神経内科学実習	2・3		4(2・2)	
		小児科学実習	2・3		4(2・2)	
		精神医学実習	2・3		4(2・2)	
		皮膚科学実習	2・3		4(2・2)	
		消化器・乳腺・一般外科学実習	2・3		4(2・2)	
		心臓血管・呼吸器外科学実習	2・3		4(2・2)	
		整形外科学実習	2・3		4(2・2)	
		脳神経外科学実習	2・3		4(2・2)	
		耳鼻咽喉科学実習	2・3		4(2・2)	
		産科学・婦人科学実習	2・3		4(2・2)	
		泌尿器科学実習	2・3		4(2・2)	
		眼科学実習	2・3		4(2・2)	
		麻酔学実習	2・3		4(2・2)	
		放射線医学実習	2・3		4(2・2)	
		家庭医療学実習	2・3		4(2・2)	
		歯科口腔外科学実習	2・3		4(2・2)	
臨床腫瘍学実習	2・3		4(2・2)			
臨床検査医学実習	2・3		4(2・2)			
救急集中治療医学実習	2・3		4(2・2)			
病理診断学実習	2・3		4(2・2)			
臨床薬剤学実習	2・3		4(2・2)			
先端臨床検査技術実習	2・3		4(2・2)			
選択科目	学際的医療人コース	生体画像工学実習	2・3		4(2・2)	選択
		生体情報工学実習	2・3		4(2・2)	
		産業医学実習	2・3		4(2・2)	
		解剖生理学実習	2・3		4(2・2)	
		再生医学実習	2・3		4(2・2)	
		生殖機能制御学実習	2・3		4(2・2)	
		遺伝子工学実習	2・3		4(2・2)	
		学際的疼痛治療学実習	2・3		4(2・2)	
		システム生理学実習	2・3		4(2・2)	
		組織工学実習	2・3		4(2・2)	
		生体材料学実習	2・3		4(2・2)	
		医用光工学実習	2・3		4(2・2)	
		ロボティクス実習	2・3		4(2・2)	
		人工臓器学実習	2・3		4(2・2)	
		神経科学研究	2・3		4(2・2)	
神経薬理学研究	2・3		4(2・2)			

履修方法

※ 1年次、2年次、3年次において、全コース共通必修科目から10単位、選択必修科目から4単位以上、コース科目の必修及び選択必修科目から4単位、各コースの選択科目から12単位以上、計30単位以上を履修するものとする。（選択科目については主指導教員・副指導教員の担当科目から1つずつ選択。残り1科目については、他のコースの科目を取得可とする）

## 授業科目及び単位数表

### 医学専攻 高度医療人コース（がん専門医療人養成コース）

コース名		授 業 科 目 名	授業を行う年次	単 位 数			選択・必修
				講義	演習	実習	
全コース	必修科目	がん基礎学	1	2			必 修
		ゲノム医学	1	2			
		緩和ケア学	1	2			
	共通選択科目	腫瘍薬剤学	1	2			選択必修
		放射線腫瘍学	1	2			
		生命倫理学	1	2			
		医療統計学	1		2		
先進的がん医療開発と個別化医療を担うゲノム医療従事者養成コース	必修科目	がん薬物療法学総論	1	4			必 修
		がん薬物療法学特論	1		4		
		がん薬物療法学実習	2・3			8(4・4)	
	コース選択科目	臨床腫瘍学実習	2・3			4(2・2)	選 択
		がんゲノム医療学実習	2・3			4(2・2)	
		遺伝統計学実習	2・3			4(2・2)	
		バイオインフーマティクス実習	2・3			4(2・2)	
		呼吸器内科学実習	2・3			4(2・2)	
		血液内科学実習	2・3			4(2・2)	
		消化器内科学実習	2・3			4(2・2)	
		小児科学実習	2・3			4(2・2)	
		皮膚科学実習	2・3			4(2・2)	
		消化器外科学実習	2・3			4(2・2)	
		乳腺・一般外科学実習	2・3			4(2・2)	
		呼吸器外科学実習	2・3			4(2・2)	
		整形外科学実習	2・3			4(2・2)	
		脳神経外科学実習	2・3			4(2・2)	
		耳鼻咽喉科学実習	2・3			4(2・2)	
		産科学・婦人科学実習	2・3			4(2・2)	
		泌尿器科学実習	2・3			4(2・2)	
眼科学実習	2・3			4(2・2)			
放射線科学実習	2・3			4(2・2)			
放射線治療学実習	2・3			4(2・2)			
がん性疼痛治療学実習	2・3			4(2・2)			
歯科口腔外科学実習	2・3			4(2・2)			



医学専攻 高度医療人コース（がん専門医療人養成コース）

コース名	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修	
			講義	演習	実習		
個別化がん薬物療法を担う薬剤師養成コース ゲノム情報に基づく	必修科目	臨床腫瘍薬剤学総論	1	4		必修	
		臨床腫瘍薬剤学特論	1		4		
		臨床腫瘍薬剤学実習	2～3		8(4・4)		
	コース選択科目	臨床腫瘍学実習	2～3			4(2・2)	選択
		がんゲノム医療学実習	2～3			4(2・2)	
		遺伝統計学実習	2～3			4(2・2)	
		バイオインフアマティクス実習	2～3			4(2・2)	
小児血液がんの診断法・治療法開発を担う医療従事者養成コース	必修科目	小児科学総論	1	4		必修	
		小児科学特論	1		4		
		小児科学実習	2～3		8(4・4)		
	コース選択科目	がん薬物療法学実習	2～3			4(2・2)	選択
		臨床腫瘍学実習	2～3			4(2・2)	
		がんゲノム医療学実習	2～3			4(2・2)	
		遺伝統計学実習	2～3			4(2・2)	
血液内科学実習	2～3			4(2・2)			
ライフステージに応じたがん集学的治療と全人的診療を担う医療従事者養成コース	必修科目	がん病態制御学総論	1	4		必修	
		がん病態制御学特論	1		4		
		がん病態制御学実習	2～3		8(4・4)		
	コース選択科目	生体物理医学実習	2～3			4(2・2)	選択
		免疫学実習	2～3			4(2・2)	
		遺伝子工学実習	2～3			4(2・2)	
		組織工学実習	2～3			4(2・2)	
		呼吸器内科学実習	2～3			4(2・2)	
		血液内科学実習	2～3			4(2・2)	
		消化器内科学実習	2～3			4(2・2)	
		小児科学実習	2～3			4(2・2)	
		皮膚科学実習	2～3			4(2・2)	
		消化器外科学実習	2～3			4(2・2)	
		乳腺・一般外科学実習	2～3			4(2・2)	
		呼吸器外科学実習	2～3			4(2・2)	
		整形外科学実習	2～3			4(2・2)	
		脳神経外科学実習	2～3			4(2・2)	
耳鼻咽喉科学実習	2～3			4(2・2)			

医学専攻 高度医療人コース（がん専門医療人養成コース）

コース名	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修
			講義	演習	実習	
ライフステージに 応じたがん集 療従事者養成コース	コース 選択科目	産科学・婦人科学実習	2～3		4(2・2)	選 択
		泌尿器科学実習	2～3		4(2・2)	
		眼科学実習	2～3		4(2・2)	
		放射線科学実習	2～3		4(2・2)	
		放射線治療学実習	2～3		4(2・2)	
		麻酔科学実習	2～3		4(2・2)	
		歯科口腔外科学実習	2～3		4(2・2)	
地域の放射線医療 従事者養成コース を支える	必修 コース 科目	放射線科学総論	1	4		必 修
		放射線科学特論	1		4	
		放射線科学実習	2～3		8(4・4)	
	コース 選択科目	放射線治療学実習	2～3		4(2・2)	選 択
		放射線腫瘍学・画像応用治療学	2～3		4(2・2)	
		臨床腫瘍学	2～3		4(2・2)	
		高精度放射線治療学	2～3		4(2・2)	
		基礎腫瘍学	2～3		4(2・2)	
		腫瘍診断学	2～3		4(2・2)	

履修方法

※ 共通必修科目から6単位、共通選択科目から4単位以上、コース必修科目から16単位、コース選択科目から4単位以上、合計30単位以上を履修するものとする。

## 授業科目及び単位数表

医学専攻 高度医療人コース  
(地域で活躍する Forensic Generalist, Forensic Specialistの  
養成コース)

コース	授業科目名	授業を行う年次	単位数			選択・必修
			講義	演習	実習	
全 共 通 コ ー ス	臨床法医学実習	1			4	必修
	個人識別学	1	4			必修
	法医画像診断学	1		4		必修
法 医 臨 床 医 養 成 コ ー ス	生体鑑定学実習	2～3			4	必修
	グリーフケア実習	2～3			4	必修
	法医病理学実習	2～3			4	選択
	法中毒学	2～3	4			選択
	エキスパート法医学実習	2～3			4	選択
	犯罪学特論	2～3	2			選択
法 歯 科 医 養 成 コ ー ス	顎顔面外傷実習	2～3			4	必修
	法歯学	2～3			4	必修
	生体鑑定学実習	2～3			4	選択
	DNA鑑定実習	2～3			4	選択
	法中毒学	2～3	4			選択
	犯罪学特論	2～3	2			選択
法 医 専 門 医 養 成 コ ー ス	エキスパート法医学実習	2～3			4	必修
	法中毒学	2～3	4			必修
	外傷学特論	2～3	4			選択
	法医病理学実習	2～3			4	選択
	DNA鑑定実習	2～3			4	選択
	法医臨床検査実習	2～3			2	選択

### 履修方法

※全コース共通必修科目から12単位、コース必修科目から8単位、  
コース選択科目から10単位以上、合計30単位以上を履修するものとする。

## 授業科目及び単位数表

### 医学専攻 NCD疫学リーダーコース

領域	クラス スタ	授 業 科 目 名	授 業 を 行 う 年 次	単 位 数			選 択 ・ 必 修
				講義	演習	実習	
コ ア 領 域	ク ラ ス タ 公 衆 衛 生	公衆衛生学概論	1	2			必 修
		保健医療行政論	2	2			
	ク ラ ス タ 医 学 統 計	疫学研究概論	1	2			必 修
		臨床試験概論	1	2			
		生物統計学概論	1	2			
	ク ラ ス タ N C D 疫 学	NCD疫学総論	1	4			必 修
		社会疫学総論	2	2			選 択
	ク ラ ス タ 国 際 交 流	アジア文化・倫理の理解	1		2		必 修
		発表技法と熟議	2		2		
	支 援 領 域	ク ラ ス タ N C D 臨 床	NCD臨床総論	1	2		
ク ラ ス タ 多 分 野 横 断		基礎医学から地域医療への展開	2	2			
		産業医学	1		1		
実 習		研究計画の鍛錬	2			4	必 修
		学外研究機関短期研修	2			2	選 択
		健康関連産業研修	2			2	
		アジア・フィールドワーク	3			2	
		学外武者修行	3			4	必 修

#### 履修方法

※ 1年次、2年次、3年次、4年次において、コア領域の必修科目から18単位、支援領域の選択必修科目から2単位、実習の必修科目から8単位、選択科目から2単位以上を修得し、合計30単位以上を履修するものとする。

【先端医学研究者コース、高度医療人コース、学際的医療人コース】

		修得単位数			備 考
		必修	選択必修	選択	
共通	基盤教育群	10単位	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全コース共通必修科目から10単位</li> <li>・全コース共通選択必修科目から4単位以上</li> <li>・コース科目の必修及び選択必修科目から4単位</li> <li>・各コースの選択科目から12単位以上</li> </ul>
	基礎と臨床の融合セミナー	—	4単位以上	—	
コース科目		4単位		—	
選択科目		—	—	12単位以上	
合 計					30単位以上

【高度医療人コース（がん専門医療人養成コース）】

		修得単位数			備 考
		必修	選択必修	選択	
全コース	コース必修科目	6単位	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全コース必修科目から6単位</li> <li>・全コース共通選択科目から4単位以上</li> <li>・当該養成コース、コース必修科目から16単位</li> <li>・当該養成コース、コース選択科目から4単位以上</li> </ul>
	共通選択科目	—	4単位以上	—	
当該養成コース	コース必修科目	16単位	—	—	
	コース選択科目	—	—	4単位以上	
合 計					30単位以上

【高度医療人コース（地域で活躍する Forensic Generalist, Forensic Specialistの養成コース）】

		修得単位数			備 考
		必修	選択必修	選択	
全コース共通		12単位	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全コース共通必修科目から12単位</li> <li>・当該養成コース必修科目から8単位</li> <li>・当該養成コース選択科目から10単位以上</li> </ul>
当該養成コース		8単位	—	10単位以上	
合 計					30単位以上

【NCD疫学リーダーズコース】

		修得単位数			備 考
		必修	選択必修	選択	
コア領域		18単位	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コア領域の必修科目から18単位</li> <li>・支援領域の選択必修科目から2単位</li> <li>・実習の必修科目から8単位</li> <li>・実習の選択科目から2単位以上</li> </ul>
支援領域		—	2単位	—	
実習		8単位	—	2単位以上	
合 計					30単位以上

教員の主な研究内容等

(令和4年5月1日 現在)

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
生命科学講座	物理学	教授	目 良 裕	1. ナノ物質、ナノ構造、表面の研究 2. ナノ光吸収分光法の開発 3. 上記テーマの医学応用
		准教授	成 瀬 延 康	1. ナノ物質や表面、バイオマテリアルの光物性研究 2. 回折法、顕微鏡法、分光法を駆使した材料物性研究 3. 地球環境科学、農業、防災、医療に資する物理研究 4. 科学教育に関する研究
	化学	教授	古 莊 義 雄	1. 超分子化学を基盤とする医用材料の開発 2. 新規な遺伝子ベクターおよびDDSの開発 3. 合成化学的手法に基づく核酸医薬の開発
	生物学	教授	平 田 多佳子	1. 免疫細胞の生体内移動の分子機構の解析 2. リンパ球の皮膚・粘膜浸潤機構の解析とその制御法の開発 3. 細胞骨格関連タンパク質による免疫応答制御機構の解明
	数学	准教授	川 北 素 子	1. 多数の有理点を持つ代数曲線の研究
医療文化学講座	哲学	教授	室 寺 義 仁	1. ブッダの人生と教え 2. 大乘仏教の哲学 3. 生命倫理と医の倫理 4. アジアの文化と諸宗教
	心理学	准教授	小 島 隆 次	1. 空間認知と言語理解 2. 感性情報処理 3. 非言語情報認知
	英語	教授	加 藤 穰	1. 生命倫理に関する国際比較研究 2. 医学・看護英語教育に関する研究
	文化人類学	教授	兼 重 努	1. 中国少数民族の人類学的研究 2. 風水思想の人類学的研究 3. 功德の観念と積徳行に関する人類学的研究
解剖学講座	生体機能形態学	教授	宇田川 潤	1. 行動における脳内リン脂質の機能の解析 2. 胎児期に調節される脳の栄養取り込み機構の解析 3. 手の構造と把握機能の研究
	神経形態学	教授	勝 山 裕	1. 脳形態形成機構の解析 2. 幹細胞の維持と細胞分化機構の解析 3. 精神疾患モデル動物の解析
		准教授	金 田 勇 人	1. 老化にともなう幹細胞および組織の恒常性破綻機構の解析 2. 老年性疾患のバイオマーカーの探索 3. 脳形態形成機構の解析
生理学講座	統合臓器生理学	教授	等 誠 司	1. 神経幹細胞の発生・維持・分化のメカニズム解析 2. 中枢神経系の再生戦略開発 3. 精神疾患の病態解明
	細胞機能生理学	准教授	尾 松 万里子	1. 生体組織に残存する胎児性細胞の機能解析 2. 細胞内Ca <sup>2+</sup> を制御する多様な機構とその統合の解析
生化学・ 分子生物学講座	分子生理化学	教授	縣 保 年	1. エピジェネティックな遺伝子発現とがん化の制御機構 2. 染色体高次構造変化による遺伝子発現とがん化の制御機構 3. iPS細胞を用いたがん特異的T細胞の再生
		准教授	寺 田 晃 士	1. 免疫細胞の抗原受容体遺伝子再構成の分子制御機構 2. 免疫細胞の発生を制御する遺伝子の発現調節機構
	分子病態生化学	教授	扇 田 久 和	1. がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構と遺伝子解析 2. 細胞接着の分子機構
		准教授	佐 藤 朗	1. がん、炎症性疾患における異細胞間コミュニケーションとシグナル伝達機構 2. 霊長類循環器疾患モデルの作製とその病態解析
	再生・修復医学	准教授	寺 島 智 也	1. 細胞及び臓器標的化による新規分子治療法の開発 2. 骨髄由来細胞のリプログラミングによる再生治療への応用 3. 骨髄由来細胞と神経疾患との関連性

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
病理学講座	人体病理学	教授	九嶋 亮治	1. 消化管病理学 2. 腫瘍病理診断学
		准教授	仲山 貴永	1. 非浸潤性消化管癌の進展可能性についての研究 2. 合成致死に基づく抗腫瘍治療の研究
	疾患制御病態学	教授	伊藤 靖	1. インフルエンザウイルス及び新型コロナウイルスに対するワクチンおよび治療薬の開発 2. サルモデルを用いた遺伝子病と老化の研究 3. カニクイザルを用いた免疫反応の研究
		准教授	石垣 宏仁	1. 霊長類モデルを用いた病理学的、免疫学的研究 (特に腫瘍、移植、感染症について)
	微生物感染症学	准教授	旦部 幸博	1. がん関連遺伝子の生理機能解析 2. 新規抗腫瘍活性成分の探索
薬理学講座	-	教授	西 英一郎	1. 膜タンパク質細胞外ドメイン切断の分子機構および生物学的役割の解明 2. 転写コレグレーターによる代謝調節機構の解明 3. 心血管病、がん、炎症性疾患におけるメタロペプチダーゼの役割の解明
		准教授	大野 美紀子	1. 多機能プロテアーゼによる心拍数制御機構 2. 急性冠症候群における新規バイオマーカーの有用性の検討 3. 巨核球成熟と血小板産生におけるプロテアーゼの役割 4. アルツハイマー病におけるプロテアーゼの役割
社会医学講座	衛生学	特任准教授	北原 照代	1. 作業関連性筋骨格系障害の予防 2. 障害者の安全衛生（二次障害予防） 3. 治療と仕事の両立支援 4. 障害者・情報弱者の社会的障壁と健康
	法医学	教授	一杉 正仁	1. 交通外傷分析 2. 血栓症突然死の病態解析 3. 外因死の予防医学
		准教授	中村 磨美	1. 法医中毒、臨床中毒、濫用薬物の生理作用 2. 法医画像、死後CT 3. 新型コロナウイルスその他感染症による医療機関外死亡
内科学講座 (内科)	循環器内科	教授	中川 義久	1. 虚血性心疾患の冠血行再建 2. 動脈硬化性疾患の一次・二次予防 3. 至適抗血栓療法
		講師	小澤 友哉	1. 臨床心臓電気生理学の研究 2. 不整脈の治療法の開発 3. 心臓電気現象のシミュレーション研究
	呼吸器内科	教授	中野 恭幸	1. 肺の構造と機能に関する研究 2. 呼吸器疾患における構造と機能に関する研究
		准教授	山口 将史	1. 重症喘息の病態生理に関する研究 2. 慢性難治性咳嗽の病態生理と治療に関する研究
	消化器内科、 血液内科	教授	安藤 朗	1. 腸管粘膜における免疫応答に関する研究 2. 腸内細菌叢の異常とIBDの病因に関する研究 3. サイトカインネットワークに関する研究
		准教授	稲富 理	1. 膵腫瘍および慢性膵炎における膵線維化に関する研究 2. ERCP関連手技における新規デバイス開発
		講師	河原 真大	1. 造血幹細胞を維持するメカニズムの研究 2. 急性白血球病発症メカニズムの解明と新規治療薬開発
		講師	西田 淳史	1. 腸管粘膜免疫からの炎症性腸疾患の解明 2. 腸内微生物叢からの炎症性腸疾患の病態解明 3. サイトカインからの炎症性腸疾患の病態解明

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
内科学講座 (内科)	糖尿病内分泌内科、 腎臓内科	講師	久米真司	1. 糖尿病性腎症の病態解明 2. 慢性腎臓病の病態解明 3. 腎病態栄養学
		講師	藤田征弘	1. 2型糖尿病の発症進展にかかわる病態の解明 2. インクレチンを含む糖代謝における消化管の役割の解明 3. 膵ランゲルハンス島におけるα細胞の病態生理学 4. 糖尿病合併症のコホート研究
	脳神経内科	教授	漆谷真	1. 筋萎縮性側索硬化症の分子標的治療 2. 神経変性疾患の細胞生物学的解析 3. 神経疾患の非侵襲的診断 4. 脳血管障害の分子病態解析 5. 神経リハビリテーションと脳機能画像解析
		准教授	真田充	1. 糖尿病性神経障害の発症機序に関する研究 2. 慢性炎症と末梢神経障害に関する研究
小児科学講座 (小児科)	-	教授	丸尾良浩	1. 遺伝性黄疸の分子遺伝学的研究 2. UDP-グルクロン酸遺伝子多型と薬剤代謝に関する研究 3. 先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的研究
		准教授	多賀崇	1. 小児白血病の新規治療開発に関する臨床研究
		講師	澤井俊宏	1. 非典型溶血性尿毒症症候群の診断と治療に関する研究 2. C3腎症の発症機構の解明 3. 補体制御異常症に関与する因子の探索
精神医学講座 (精神科)	-	教授	尾関祐二	1. 統合失調症の病因、病態の検討 2. 抗精神病薬治療の循環器への副作用に関する研究
		准教授	藤井久彌子	1. 統合失調症の病因・病態の研究 2. 不随意運動を伴う精神疾患に関する研究
		講師	吉村篤	1. 高齢者の術後せん妄の発症予測に有用な生体指標の探索研究 2. 睡眠障害に起因する社会機能/QOL障害の実態調査 3. 電気けいれん療法(ECT)に関する多施設共同による後方視観察研究
皮膚科学講座 (皮膚科)	-	教授	藤本徳毅	1. 自己免疫性疾患における抑制性B細胞の研究 2. 皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究 3. 先天性表皮水疱症の遺伝子治療 4. 自己炎症性疾患の発症機序に関する研究
		講師	加藤威	1. 毛髪疾患の治療に関する研究 2. 皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究
		講師	高橋聡文	1. アレルギー性皮膚疾患の診断と治療に関する研究 2. 皮膚感染症における病原体遺伝子検出に関する研究 3. 遺伝性皮膚疾患の病態と治療に関する研究
外科学講座(外科)	消化器外科、乳腺・小児・ 一般外科	教授	谷真至	1. 膵切除術における合併症予防に関する臨床研究 2. 消化器癌に対する免疫療法の開発 3. 膵機能に関する研究 4. 消化器癌転移メカニズムの解明 5. 手術手技に関する介入研究 6. 癌と線維芽細胞との相互作用
		准教授	飯田洋也	1. 高齢者患者の虚弱性の評価と周術期の介入 2. 肝切除における、蛍光ナビゲーションサージェリーの開発
		講師	三宅亨	1. 腫瘍と線維化に関する研究 2. 癌転移に関する研究 3. 大腸における周術期管理に関する研究
		講師	山口剛	1. 肥満外科・糖尿病外科治療における安全性と有効性の研究 2. 食道・胃疾患の外科治療の研究 3. 消化性潰瘍の治療における安全性と有効性の研究



所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
外科学講座（外科）	心臓血管外科、呼吸器外科	教授	鈴木友彰	1. 冠動脈バイパスモデルの研究 2. 心臓大血管手術の長期予後の研究 3. 僧帽弁形成の術式および長期予後の研究 4. 急性大動脈手術の研究および長期予後の研究
		准教授	花岡淳	1. 胸部疾患に対する胸腔鏡下低侵襲手術 2. 肺癌に対する手術法の研究 3. 呼吸器外科手術におけるダビンチ手術 4. 肺葉間・区域間作成方法の研究 5. 動的X線装置を用いた肺排切除前後の肺機能の評価
		講師	大塩恭彦	1. 肺癌に対する単孔式手術 2. 肺癌に対するナビゲーション手術 3. 胸部手術に対する8K内視鏡システム 4. 肺手術時の新規気漏検出法および修復法の開発 5. 抗腫瘍免疫応答と腫瘍微小環境に関する研究
		講師	高島範之	1. 胸部大動脈瘤の長期予後の研究 2. 急性大動脈解離に対する術式検討と長期予後の研究 3. 動脈壁の伸展性の検討と臨床への応用 4. 大動脈弁狭窄症の術式および長期予後の研究
整形外科科学講座 （整形外科）	-	教授	今井晋二	1. 鏡視下肩関節手術の臨床成績向上に関する研究 2. 人工肩関節置換術の臨床成績向上に関する研究 3. 軟骨損傷と脊髄損傷に対する再生医療学的研究
		准教授	森幹士	1. 脊柱靭帯骨化症の病態と治療に関する研究 2. 脊椎・脊髄の診断と治療に関する研究 3. 骨代謝に関する研究
		講師	久保充彦	1. 人工膝関節全置換術の臨床成績の向上に関する研究 2. 人工膝関節全置換術のkinematicsに関する研究 3. 軟骨修復に関する基礎・臨床研究 4. 変形性膝関節症の疼痛に関する臨床研究
		講師	彌山峰史	1. 脊柱靭帯骨化の骨化形成メカニズムの解析 2. 靭帯肥厚の病態解析
脳神経外科学講座 （脳神経外科）	-	准教授	辻篤司	1. 虚血性脳血管障害の病態生理と治療法の開発 2. 脳血管内治療法の開発 3. 脳循環代謝の研究
		講師	深見忠輝	1. 神経膠腫に対する集学的治療法の研究 2. 覚醒下手術の安全性及び危険性に関する研究 3. 内視鏡下手術による治療の適応に関する研究
		講師	新田直樹	1. 内側側頭葉てんかんの病態と治療に関する研究 2. 神経生理学的検査の解析に関する研究 3. 脳腫瘍の病態と治療に関する研究
耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座 （耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科）	-	教授	清水猛史	1. 上気道炎症の病態とその制御 2. 病態気道における粘液産生と分泌 3. 上気道の免疫・アレルギー
		准教授	大脇成広	1. 音声障害に対する診断と治療 2. 頭頸部癌の診断と治療
		講師	神前英明	1. 上皮細胞による気道アレルギー疾患誘導のメカニズムとその制御 2. 好酸球性副鼻腔炎の病態解明 3. スギ花粉症の病態解明
		講師	戸嶋一郎	1. 上気道における好酸球炎症の研究 2. アレルギー性鼻炎の病態解明 3. 気道上皮における粘液産生とその制御

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
産科学婦人科学講座	女性診療科	教授	村上 節	1. 産婦人科低侵襲手術（子宮鏡・腹腔鏡・ロボット手術） 2. 子宮内膜症・子宮腺筋症 3. 生殖内分泌学・不妊症
		准教授	辻 俊一郎	1. 帝王切開癒着症候群の病態解明と治療法の開発 2. 新生児 HIE モデルマウスを使用した治療の開発 3. 子宮内膜症に関する研究 4. 精神疾患合併妊娠に対する臨床研究
	講師	笠原 恭子	1. 女性医学 2. 女性の骨粗鬆症	
泌尿器科学講座 (泌尿器科)	-	教授	河内 明宏	1. ロボティクスサージェリーに関する研究 2. 低侵襲療法の開発に関する研究 3. 新しいイメージングモダリティの開発に関する研究
		准教授	成田 充弘	1. 泌尿器腹腔鏡下手術に関する研究 2. 前立腺癌治療とQOLに関する研究 3. ロボット支援手術に関する研究
		講師	上 仁 数 義	1. 小児泌尿器科手術（形成手術、腹腔鏡手術に関する研究） 2. 小児排尿障害に関する研究 3. 小児泌尿器領域におけるMRI画像診断の応用
		講師	影山 進	1. 尿路上皮癌の特異分子に関する研究 2. 泌尿器癌に対する新規抗癌剤の創薬 3. 泌尿器癌のプロテオミクス研究
眼科学講座（眼科）	-	教授	大路 正人	1. 網膜硝子体疾患の病態解明と外科的治療の開発 2. 眼内サイトカインに関する研究 3. 未熟児網膜症モデルマウスを用いた網膜症の解析
		准教授	西 信 良 嗣	1. 網膜の分子生物学 2. 眼内薬物治療
		講師	澤 田 修	1. 硝子体内薬物動態の研究 2. 糖尿病黄斑浮腫に関する研究
		講師	柿 木 雅 志	1. 硝子体内薬物動態・サイトカイン動態の研究 2. カニクイザルを用いた眼内薬物動態・サイトカイン動態の研究 3. 硝子体手術に関する新しい手術方法の研究
麻酔学講座 (麻酔科、ペイン クリニック科)	-	教授	北 川 裕 利	1. 心筋虚血再灌流傷害モニタリング法の開発 2. 麻酔・麻薬による心保護作用の解明
		講師	福 井 聖	1. 慢性疼痛のMRスペクトロスコピーによる脳機能画像評価 2. 慢性疼痛のVBMによる局所脳形態変化 3. 慢性疼痛に対する学際的治療 4. 痛みの低侵襲治療法の開発ーパルス高周波法ー 5. 慢性疼痛のrstMRIによる脳機能評価
		講師	小 嶋 亜 希 子	1. Ca <sup>2+</sup> 輸送タンパク質に着目した、麻酔薬の心筋保護メカニズムにおける分子基盤の解明 2. 麻酔薬による心臓ペースメーカー機能に対する修飾作用の研究 3. 麻酔薬とイオンチャネルとの相互作用における電気生理学的、分子生物学的解析 4. 不整脈発生に関わるイオン機序に対する麻酔薬の修飾作用の研究

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
放射線医学講座 (放射線科、放射線部)	-	教授	渡邊 嘉之	1. CT、MRIを用いた神経疾患の病態解明、機能情報の画像下の研究 2. 人工知能の画像診断への応用 3. MRIを用いた生体内の流れの研究
		准教授	園田 明永	1. 動態X線解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の気道径の評価 2. 動態X線解析を用いた拘束性肺障害、閉塞性肺障害における深呼吸時の肺野濃度の評価 3. 腎動脈周囲神経叢へのボツリヌス毒素を用いた高血圧治療方法の開発
		講師	河野 直明	1. 限局性前立腺癌の放射線治療に関する臨床研究 2. 転移性脳腫瘍に対する多標的定放射線照射の安全性と有効性に関する後ろ向き研究
		講師	北原 均	1. 人工知能を用いた肺の超高精細CTの画質向上に関する研究 2. 骨軟部画像診断の精度向上に関する取り組み 3. 小児画像診断の精度向上に関する取り組み 4. 神経画像診断の精度向上に関する取り組み
歯科口腔外科学講座 (歯科口腔外科)	-	教授	山本 学	1. 骨芽細胞の再生に関する研究 2. 口腔腫瘍の病態と治療 3. 顎骨と口腔の再建に関する研究 4. 口腔内細菌叢に関する研究 5. 睡眠時無呼吸症候群に関する研究
		講師	家森 正志	1. 口腔癌治療に関する研究 2. 顎変形症および口蓋裂治療に関する研究 3. 骨吸収抑制剤関連顎骨壊死に関する研究 4. 睡眠時無呼吸症候群に関する研究 5. 歯周病に関する研究 6. インプラント治療に関する研究
		講師	越沼 伸也	1. 露出骨面創部治療に関するメカニズムの解明および新規組織再生修復材料の開発 2. 網羅的口腔内細菌叢の解析 3. 顎顔面形態と睡眠時無呼吸症候群と各種疾患との関連性の解明
臨床検査医学講座 (検査部)	-	准教授	茶野 徳宏	1. 遺伝子診断の臨床適用 2. 新規分子RBICCIの生物学的機能の解析 3. がん特異的バイオマーカーを用いた診断と治療の開発 4. RAB39Aを標的とする分子創薬
病理部	-	准教授	森谷 鈴子	1. 病理診断学 2. 乳腺・婦人科病理
救急集中治療医学講座 (救急集中治療部、 総合診療部)	-	教授	塩見 直人	1. 重症頭部外傷の集学的治療に関する研究 2. 脳死・脳蘇生に関する臨床的研究 3. 病院前救急診療体制の構築 4. 救急領域におけるエンドオブライフ・ケアの取り組み
		講師	辻田 靖之	1. 過大侵襲時の心機能障害と不整脈に関する研究 2. 敗血症の臓器障害に関する研究 3. 心臓・血管原性ショックの疫学研究
臨床腫瘍学講座 (腫瘍センター)	-	教授	醍醐 弥太郎	1. 新規がん関連遺伝子の同定と機能解析による発がん機構の解明 2. ゲノミクス、プロテオミクス解析による体系的がん進展機構の解明 3. がんの新規分子標的治療薬（低分子・抗体・核酸医薬）、がんペプチドワクチンおよび免疫制御薬の開発とトランスレーショナルリサーチ 4. がんの個別化医療に向けたバイオマーカーと分子病態診断システムの開発とトランスレーショナルリサーチ 5. ヒト臨床試料のバンク構築と活用による研究支援
		講師	村田 聡	1. 消化器癌手術後の転移機序の解析と治療法の開発 2. 消化器癌周術期における癌微小環境の制御 3. 固形がんに対する免疫細胞治療法の開発

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
総合内科学講座	-	教授	杉本俊郎	1. 内科診断学 2. 地域医療 3. 水・電解質異常の基礎と臨床 4. ICTを用いた医学教育方法の開発
		准教授	大西正人	1. 慢性心不全の病態生理と治療 2. プライマリケアにおける高血圧の診断と治療 3. シミュレーション医学教育
		准教授	伊藤明彦	1. 内視鏡的胃瘻造設術の手技と管理 2. 経腸栄養の適応と合併症 3. NST（栄養サポートチーム）活動と多職種連携
		准教授	前野恭宏	1. 糖尿病の地域医療連携効率化に関する研究 2. 糖尿病患者教育と予防教育の効率的な方法に関する研究
		講師	和田広	1. 呼吸器内科診療における地域連携効率化に関する研究 2. 閉塞性肺疾患の臨床
総合外科学講座	-	教授	目片英治	1. 大腸癌の集学的治療 2. 樹脂製手術器具の開発 3. 抗癌剤感受性試験 4. 腫瘍学（病態・治療・地域連携）
		講師	太田裕之	1. 大腸癌の集学的治療 2. 術後合併症に関する臨床研究 3. 樹脂製手術器具の開発
		講師	赤堀浩也	1. 消化器外科侵襲学に関する研修 2. マイクロ波手術デバイスの開発 3. 瘻切除術に関する臨床研究
		講師	北村直美	1. 新しいエンドトキシン測定法の開発 2. 腹腔鏡下胆のう摘出術に対する術後鎮痛
形成外科学講座	-	講師	岡野純子	1. 糖尿病難治性皮膚壊疽潰瘍に対する骨髄細胞を用いた新規治療法の開発 2. 皮膚恒常性維持（ホメオスタシス）にかかわる骨髄由来細胞の分子機構の解明
光学医療診療部	-	講師	馬場重樹	1. 間接熱量測定を用いた必要エネルギー量に関する研究 2. サイトカインとエネルギー代謝に関する研究 3. 炎症性腸疾患の栄養療法に関する研究
血液浄化部	-	講師	金崎雅美	1. 血液浄化療法学 2. 糖尿病性腎症の発症および進展機構の解明
輸血部	-	講師	南口仁志	1. 造血幹細胞の特性解明 2. 白血病幹細胞の特性解明
医療情報部	-	准教授	杉本喜久	1. 医用電子工学 2. 医療情報システム 3. 循環器系の生体工学
薬剤部	-	教授	森田真也	1. 脂質トランスポーターおよび脂質代謝に関する研究 2. 脂質分析法の開発
医療安全管理部	-	教授	清水智治	1. 外科侵襲学に関する研究 2. 新しいエンドトキシン測定法の開発 3. 大腸癌・炎症性腸疾患の治療に関する研究
		講師	萬代良一	1. 院内救急対応システム
リハビリテーション部	-	准教授	児玉成人	1. 悪性骨・軟部腫瘍の病態と治療に関する研究 2. 整形外科再建手術におけるマイクロサージャリーによるアプローチ 3. 突発性前・後骨間神経の病態と治療に関する研究

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
臨床研究開発センター	-	教授	久津見 弘	1. レギュラトリーサイエンス 2. 新規医療開発 3. 消化器内視鏡
		講師	倉田 真由美	1. 生体臓器移植に対する認識調査—インターネット調査による一般市民の自由記述回答の分析 2. インターネットを活用した研究参加希望者支援システムの構築 3. 改正臓器移植法における親族優先提供をめぐる議論の批判的検討
医師臨床教育センター	-	教授	川崎 拓	1. 人工関節手術に関する研究 2. リウマチ性疾患の疫学調査 3. 運動器リハビリテーションに関する研究
		特任講師	山原 真子	1. 糖尿病性腎臓病におけるポドサイトの障害機構の解明 2. 慢性腎臓病における腎機能障害機構の解明
神経難病研究センター	基礎— 分子神経病理学	教授	西村 正樹	1. アルツハイマー病と脳老化の分子病態解明 2. アルツハイマー病の創薬標的の開拓と解析 3. 神経変性疾患のリスク制御による予防的医療の実現に向けた研究
	橋渡し— 神経診断治療学	教授	石垣 診祐	1. 神経変性疾患・認知症の病態解明 2. 核酸医薬を用いた神経変性疾患・認知症の根本治療法開発 3. 摂食機能・高次脳機能指標、画像指標を用いた神経変性疾患・認知症のバイオマーカー開発
		准教授	柳沢 大治郎	1. フッ素MRIによるアルツハイマー病の画像診断法の開発 2. アルツハイマー病の発症機序の解明および治療標的の探索 3. 神経変性疾患の診断・治療法の開発
	基礎— MR医学研究	准教授	椎野 顕彦	1. 分子標的薬の開発 2. 脳MR画像診断のためのプログラム開発 3. MRスペクトロスコピー 4. 神経病変の診断と診療研究
動物生命科学センター	-	教授	依馬 正次	1. サルES/iPS細胞に関する研究 2. 遺伝子組換えカニクイザルを用いたヒト疾患研究 3. マウスES/iPS細胞に関する研究 4. 血管新生の分子機構
		准教授	守村 敏史	1. 新規発光プローブによる抗小胞体ストレス薬の開発及び応用研究 2. TDP-43結合mRNAの翻訳産物に焦点を当てた孤発性筋萎縮性側索硬化症の細胞病態の解明 3. 病原関連変異APP遺伝子組換えアルツハイマー病モデルザルを用いた早期診断・治療法の開発
創発的研究センター 国際共同研究部門	-	特任教授	WAN ZURINAH WAN NGAH	1. アルツハイマー病をはじめとする神経変性疾患のメカニズムの解明とパーム油由来トコトリエノールなどの抗酸化物質による治療法に関する研究 2. トコトリエノール投与による腸内細菌叢と腸内メタボリズムの改善と認知機能との相関についての動物モデルを用いた研究 3. アルツハイマー病遺伝子導入神経芽細胞に対するトコトリエノールのアイソフォームの効果検証 4. トコトリエノール投与したアルツハイマー病モデルマウスの海馬におけるトランスクリプトーム、プロテオーム、メタボロームの総合的解析（マレーシア国民大学との共同研究）
実験実習支援センター	-	准教授	朝比奈 欣治	1. 肝臓の線維化における肝星細胞の活性化機構の解明 2. 腹腔内における臓器表面中皮と腹腔マクロファージの相互作用 3. 膵臓がんにおけるマクロファージの役割
保健管理センター	-	准教授	小川 恵美子	1. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の病態解明 2. COPDコホート集団データを用いた臨床研究
情報総合センター	-	教授	芦原 貴司	1. コンピュータシミュレーションによる不整脈治療の開発 2. 難治性心房細動アブレーション医療機器と新術式の開発 3. 生体医工学・in silico・人工知能等による循環器病態解明 4. ヒトiPS心筋細胞シートの循環器病治療・創薬への応用
		准教授	本山 一隆	1. 恒星の形成過程の研究 2. 星間ガスの進化の研究 3. ハイパフォーマンス コンピューティング

所属	部門・領域等	職名	氏名	主な研究内容等
医学・看護学教育センター	-	教授	伊藤 俊之	1. 医学教育学
		教授	向所 賢一	1. 動物モデルを用いた胃・食道発癌に関する研究 2. 胆汁酸の発癌及び癌の進展に関する影響 3. 新しい3次元培養システムを用いた癌研究
NCD疫学研究センター	予防医学	教授	三浦 克之	1. 循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 循環器疾患・生活習慣病の予防医学 3. 栄養疫学
		准教授	門田 文	1. 糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 糖尿病・循環器疾患・生活習慣病の予防医学 3. 潜在性動脈硬化症および認知症に関する疫学研究
	最先端疫学部門	教授	矢野 裕一郎	1. 生活習慣病の研究 2. ビッグデータ 3. 疫学研究
	医療統計学	准教授	原田 亜紀子	1. 疫学研究における統計解析手法の開発 2. 健康・保健医療サービス研究のための統計解析手法の開発 3. 身体活動、加齢に関する疫学研究
革新的医療機器・システム研究開発講座（寄附講座）	-	特任教授	谷 徹	1. 次世代医療システム 2. ロボットによるナビゲーション外科手術 3. 外科低侵襲手術 4. マイクロ波手術デバイス 5. 悪性腫瘍温熱化学療法
地域医療教育研究拠点	-	准教授	梅田 朋子	1. 乳癌の浸潤転移と線溶系および接着因子 2. 乳癌浸潤範囲のMRIマッピング 3. 乳癌術前化学療法の細胞性免疫に対する効果
		准教授	川合 寛道	1. 糖尿病神経障害の発症機構とTNF 2. ミトコンドリア脳筋症の病態解明 3. ALSの遺伝子治療
IR室	-	准教授	森野 勝太郎	1. 代謝疾患と栄養の研究 2. ミトコンドリアバイオジェネシス

## 博士課程研究指導の方法及び内容

以下の研究指導計画を進められるように指導教員が研究指導を行います。

### 《第1学年》

- 指導教員と相談のうえ、履修科目を決定します。
- 指導教員が作成した研究指導計画書を確認します。
- 全員必修の「医学総合特論」により研究の基礎を学び、次に実験実習センターの協力の下に集中講義により、実験における基礎実技を修得します。
- 「テクニカルセミナー」・「医学・生命倫理学概論」・「疫学・医療統計学概論」の各必修科目により、研究上の倫理観や最新の統計処理能力を修得します。
- 各コースの講義、演習によって、研究の基礎知識を学び、研究の基本計画を立てます。

### 《第2学年》

- 実習を中心に授業科目を履修し、研究を進めていきます。指導教員および関連講座の教員等、複数の教員による指導を受けます。
- 関連の文献を読み解くことが重要です。
- 倫理委員会に諮る必要のある場合は、申請します。
- 第3学年のプログレス・レポート（ポスター発表会）に向けて、準備を進めます。

### 《第3学年》

- 指導教員が研究の進捗状況をチェックします。
- プログレス・レポート（ポスター発表会）が6月下旬～7月上旬に実施されます。幅広い分野の教員等からの指導を受け、第1学年で作成した研究指導計画の点検、修正等を行います。
- 研究論文の作成に取り掛かります。

※平成30年度以降入学者については、プログレス・レポートを研究基礎力試験(Qualifying Examination)として取り扱います。詳細については別途通知いたします。

### 《第4学年》

- 研究論文を完成させ、学術雑誌に投稿します。査読には時間がかかりますので、十分に余裕をもって投稿する必要があります。
- 学位論文の出願（6月／12月）
  - ↓
  - 学位論文の受理決定（7月／1月 大学院委員会）
  - ↓
  - 学位論文研究発表会（10人の審査員による投票）及び最終試験（8月下旬／1月下旬）
  - ↓
  - 学位授与の決定（9月／2月 大学院委員会）
  - ↓
  - 学位授与式（10月3日／3月10日 ※土日・祝祭日により日程変更あり）

入学年度	年度	学籍番号	
氏名			
コース名			

指導教員	講座名等	
	氏名	
副指導教員	講座名等	
	氏名	
研究題目		

研究指導計画（指導教員記入欄）

元本

（裏面へ続く）

1. 学生と指導教員が相談のうえ、作成してください。
2. 年次に分けて、論文作成の計画等を具体的に記入してください。
3. 指導教員は、作成後の研究指導計画書を学生に明示してください。
4. 作成した計画書は、学生と指導教員がそれぞれ写しを所持し、原本は5月9日までに学生課大学院教育支援係に提出してください。



5.

研究指導計画（指導教員記入欄）

見本

# PhD-MD制度について

## PhD-MD制度とは

PhD-MD 制度とは、医学部医学科第4学年修了後ただちに大学院医学系研究科博士課程に進学して、博士号の学位（PhD）を取得した後、本人の意思により医学部医学科第5学年に復学して臨床医を目指す道、あるいは基礎系研究者となる道のいずれかを選択できる制度のことをいいます。

3年間での大学院医学系研究科博士課程修了を目指し、主指導教員、副指導教員、関連教員による研究指導に加え、領域を超えて指導が受けられるよう配慮します。また、ティーチングアシスタント制度により、就学援助ならびに研究指導者としての資質も高めます。その他奨学金制度等の活用により、生活援助を実施します。

## 現行制度とPhD-MD制度の違い

(現行制度)

医学部医学科						臨床研修	大学院医学系研究科博士課程			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	2年間	1年	2年	3年	4年

(PhD-MD 制度)

医学部医学科				大学院医学系研究科博士課程				2つの選択肢	
1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	(4年)	医学部医学科 5年 6年	臨床研修 2年間
研究者									

(PhD-MD 制度では、大学院医学系研究科博士課程を3年間で修了するよう、学生に奨励する。)

# PhD–MD Program

## About PhD–MD Program

Upon finishing the first four years of the curriculum in the School of Medicine, students may choose to enter SUMS Doctoral Program, Graduate School of Medicine to acquire a PhD, and then either continue to work as medical researchers, or re-enroll in the School of Medicine as 5th grade medical students to become clinical doctors.

In this post-graduate course, students are encouraged to complete Doctoral Program in three years. They will receive guidance by a supervisor, a sub-supervisor, and related teachers, but also extra instruction will be available to students outside their specialty. We have a "Teaching Assistants" (TA) system in our university, and post-graduate students can apply to become TAs, both to receive financial benefits and to qualify as research instructors by guiding undergraduate students. We may also be able to offer some other grants and scholarships.

## Differences between ordinary program and the PhD–MD Program

### (Ordinary program)

School of Medicine						Clinical Training	Graduate School of Medicine			
1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	2 years	1st	2nd	3rd	4th

### (PhD–MD Program)

School of Medicine				Graduate School of Medicine				Alternative	
1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	(4th)	School of Medicine 5th	Clinical Training 6th 2 years
Researcher									

(In the PhD-MD Program, students are encouraged to complete Doctoral Program in three years.)

大学院（博士課程）における大学院設置基準第 14 条特例の  
適用に関する申し合わせ

（医学系大学院委員会）

平成 17 年 9 月 14 日 決定

平成 28 年 1 月 13 日 改正

滋賀医科大学大学院医学系研究科博士課程に在学中の者が、大学院に在籍のままで常勤職員（勤務実態が常勤職員と同等の非常勤職員を含む。）として就職することを希望する場合は、この申し合わせにより取り扱うものとする。

- 1 滋賀医科大学大学院学則第 16 条第 2 項に定める授業科目について 12 単位以上を修得し、かつ在学期間が 1 年以上の者のうち、大学院に在籍のままで常勤職員として就職を希望する者は、事前に指導教員の承認を得た上で、就職先（所属長）の承諾を得て、所定の申請書類を学長に提出するものとする。
- 2 申請があった場合は、医学系大学院委員会の議を経て、大学院設置基準第 14 条（教育方法の特例）（以下「14 条特例」という。）を適用して、学長がこれを許可する。
- 3 この申し合わせにより 14 条特例を適用された者の在学年限は、滋賀医科大学大学院学則第 9 条第 2 項を準用し、社会人入学を希望して入学した者（社会人特別選抜により入学した者を含む。）と同等の 12 年とする。
- 4 この取り扱いは、平成 16 年度入学者から適用する。

附 則

1. この申し合わせは、平成 17 年 9 月 14 日から施行する。
2. 平成 15 年度以前に入学した在学中の大学院学生が、この申し合わせの施行後に、同等の取り扱いを希望した場合は、この申し合わせを準用し、個別に判断するものとする。

附 則

この申し合わせは、平成 28 年 4 月 1 日から実施する。

